

| ~新規採用職員のご紹介~ |

平成31年4月1日より、JA高知県 香美地区の新たな仲間となった新規採用職員をご紹介します。



- おがわ ゆきひろ
- ① 小川 幸寛 (23)
 - ② 香美営農経済センター 営農指導課 (経営指導)
 - ③ テニス、テニス鑑賞
 - ④ 1日でも早く役に立てるようになり、自分にしかできないことを見つけ、仕事に活かしていきたいと思います。



- ひら やま すくむ
- ① 平山 傑 (26)
 - ② 物部支所 物部購買課・集出荷場
 - ③ 釣り、ゲーム
 - ④ 一生懸命がんばりますので、よろしくお願いします。



- しまむら れいら
- ① 島村 麗羅 (18)
 - ② 野市支所 信用課
 - ③ 読書
 - ④ 1つでも早く仕事を覚えて、取り組めるよう頑張ります。



- ふじ かわ
- ① 藤原 かれん (22)
 - ② 赤岡支所 信用共済課 (信用)
 - ③ グルメ探索
 - ④ 笑顔で丁寧な接し方を心がけます。



- なかひら たくみ
- ① 中平 拓未 (22)
 - ② 土佐山田支所 土佐山田購買課
 - ③ 野球観戦、バレーボール
 - ④ 新人らしく元気に頑張ります。



- やま さき そうま
- ① 山崎 颯真 (18)
 - ② 土佐山田支所 信用課
 - ③ 車、ボウリング
 - ④ 何事にも真剣に取り組めます。



- なか やま ゆりか
- ① 中山 優里香 (22)
 - ② 香我美支所 共済課
 - ③ ドライブ、食べること
 - ④ JA職員として新たな1歩を踏み出せることを光栄に思います。1日でも早く仕事に慣れるため努力します。



- よこだに たつ や
- ① 横谷 達也 (29)
 - ② 香我美支所 山北購買課
 - ③ 音楽を聞きながら散歩 音楽フェス、映画鑑賞
 - ④ 「いつも笑顔に」をモットーに、1つずつ、少しずつでも成長できるように仕事を覚えてお役にたてるようになりたいです。

- ① 名前
 - ② 配属先
 - ③ 趣味・特技
 - ④ 抱負
- 宜しくお願い
します!!



- わだ さやか
- ① 和田 采也花 (22)
 - ② 土佐山田支所 土佐山田集出荷場
 - ③ お菓子作り、美味しい物を食べる
 - ④ なるべく早く職場に慣れるように、積極的な行動を心がけて頑張ります。

香北支所管内より



桜を背景に作業中

いおろいじゅんた
五百蔵 純太さん (64)

定年退職を機に、父親が栽培していたオクラを管理し始めJAへ出荷している純太さん。他にも、キャベツや文旦など様々な農産物を育て、香北町にある直販所『蕪生の里』にて販売しています。純太さんは『蕪生の里』の副理事長も務めており、農作業に会議に…と、忙しくも充実した日々を送っている様子。「後ろの桜は写りゆうかえ？」とカメラに向かって微笑みながら、この日もせっせと作業にはげんでいました✿

夜須支所管内より



嬉しい声を力に変えて

おだに まきひろ
小谷 真弘さん (31)

夜須町で米とナスを栽培する、就農11年の真弘さん。米は父と共に、ナスは自身が挑戦しやすい品目を考え選んだそうです。夜須町の直販所『やすらぎ市』にもナスを出しているそうで、「やわらかくて、食べやすい」という声を頂くと嬉しくて…私の力になっています」と、とびきりの笑顔を見せる真弘さん☆皆さんの声をパワーに、これからも美味しいナスを届けます。

香美地区

から こんいちには
今月の〇〇 気になる人

土佐山田支所管内より



新たな役割を担って

いしかわ たかひと
石川 貴仁さん (34)

土佐山田町でニラと青ねぎを栽培する貴仁さん。「やればやるだけ結果が返ってくる」ことを魅力に感じながら、就農して10年。「丹誠を込めて作っているので、ぜひ多くの人に味わってほしいです！」と笑顔を見せます☆青壮年部土佐山田支部に所属しており、今年度からは支部長を務めることに。「初めての役割なので緊張しますが、青壮年部員の増員や学童農園など…仲間と共に頑張ります！」と意気込みを語ってくれました。

地区本部より



本年度の体制が決定です

女性部土佐香美地区 三役の皆さん

4月19日、JA高知県発足後 初となる通常総会で選任された三役の皆さんをご紹介します。部長の柳田貴美子さん、副部長の宮地テル子さん、そして今年から会計となった中元暁美さんです。『JA女性 地域で輝け 50万パワー☆』の基本方針のもと、“JA高知県女性部”そして“令和”となった新たな時代を仲間とともに歩み始めます。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



天気も良く、絶好のウォーキング日和でした

1 地区本部 春の道歩き健康づくり

J A香美地区と助けあい組織かがやきは4月3日、平成31年度健康ウォーク春の部「塩の道を歩く」を共催。組合員や地域住民など25名が参加しました。このイベントは、健康、ゆとりといきがい、仲間づくりを楽しんでもらう事が目的。同組織の取り組みの中でも特に人気が高く、春と秋の部に分けて毎年開催している恒例のイベントです。今回歩いたのは、香美市香北町の久保川見渡し地蔵から香南市香我美町の西川花公園まで66*のコース。塩の道保存会のス

タッフが語る昔話を聞きながら、緑と花々が広がる春の山道を楽しみました。

昼食は、地元の女性らお手製の「竹弁当」。容器は竹、仕切りにもプラスチックやアルミを一切使用しておらず、地元で採れた旬の野菜などをふんだんに使用した御馳走です。ゴールの公園では、見頃真っ只中の満開の桜や花々がお出迎え。参加者は「歩きやすい季節で、山道の新緑も気持ち良く楽しいウォーキングだった」と話しました。

2 地区本部

新たな基本方針でさらに活発な活動を



川井会長の講演の様子

女性部土佐香美地区は4月19日、JA高知県発足後初の通常総会を開催。部員約60名が出席し、平成30年度事業報告及び収支決算承認の件など4つの議案を全て承認しました。

冒頭、柳田貴美子部長は「昨年度も食農教育や目的別グループなど、計画に沿った活動を展開することができた。今後も更に活発に取り組みたい」と挨拶。平成31年度は基本方針として「JA女性地域で輝け50万パワー☆」を盛り込み、土佐香美、おんな塾や女性部大会、女性の光大会などを引き続き開催することを計画しました。また、部員が生涯現役で活動に参加することや、次世代部員の加入促進に取り組むため「生涯現役+1（プラスワン）運動」を今後も継続することを決定。家の光三誌や農業新聞の記事活用も積極的に進めていくこととしました。

総会終了後には、今後の女性部組織の在り方・活動についてJA高知女性組織協議会の川井由紀会長が講演を行い、部員らは真剣に耳を傾けました。

3 土佐山田支所管内

寿司ふるまい祝福



手渡しで五目寿司を振る舞いました

平成31年度高知工科大学入学式が4月2日に行われ、学生ら主催の新生歓迎イベント「Welcome工科大」が開催されました。女性部土佐山田支所も香美市商工会などと協力し、毎年このイベントに参加しています。

今年心を入れて作ったお手製の五目寿司を280パック用意。部員らは、入学式を終えた新入生や保護者たちに「ご入学おめでとうございます」「五目寿司をどうぞ」と声を掛け、入学を祝福しました。

4 地区本部

農業振興について話し合う



総会の様子

平成31年度香美・香南地区農業振興連絡協議会総会が4月24日、香美地区野市支所大ホールで開催され、香美市長・香南市長など関係機関から約40名が出席しました。

森田祐輔会長は冒頭「一致団結し地域農業を明るくしていくために、様々なご意見を頂き話し合いを進めたい」と挨拶。その後、平成30年度事業報告や31年度計画について協議し、産地力・販売力の強化など今後の地域農業振興について話し合いが行われました。

5 香我美支所管内

温室みかん出荷開始



丁寧に箱詰めされる様子

J A香美地区山北果樹集出荷場で4月25日、温室みかんの初出荷が始まりました。この日、持ち込まれたみかんの量は約4ト。糖酸度センサーによる精度の高い選果、更に、人の目によって丁寧に選果と箱詰めされ安定した品質の出荷を行っています。

本年度のみかんの糖度は12度と良好で、甘味が口いっぱいに広がる濃厚な味。7月下旬にピークを迎え、8月いっぱいまで県内外の各市場へと出荷されます。

6 赤岡支所管内

大杯を「ぐーっと！」



会場からは歓声と拍手が湧き上がりました

香南市赤岡町の海辺で4月28日、「第62回土佐赤岡どろめ祭り」が開催されました。目玉は、大杯に注がれた酒の飲みっぷりを競う飲み干し大会。屋台の出店もたくさんあり、毎年、県内外から多くの観光客などで賑わっています。

ステージイベントには、JA香美地区赤岡支所の野村晃一支部長が、歌舞伎の演目「白波五人男」の赤星十三郎に扮して登場。「ぐーっと、ぐーっと」の掛け声に合わせて、杯の酒を豪快に飲み干しました。

えいのう〜



初心者（家庭菜園）向け

夏まきニンジン、

上手な発芽と管理のポイント

ニンジンにはベータカロテンを豊富に含み、粘膜強化や免疫力アップ、老化防止などに役立ちます。品種改良が進み、カロテン含量が高く、芯までよく着色、サラダにも向くなど品質が格段に高まり、家庭菜園での魅力が増大してきました。

これからがまきどきの夏まき作型は、秋の適温条件（18〜20度）で育つため作りやすく、中秋から冬にかけて長期間収穫できるので、実益の上がお薦めの野菜です。

種まきの適期は7月上旬（関東南部以西の平たん地、暖地は中〜下旬）となるので、発芽と初期生育は天候の難しい時期に当たります。そのためこの作型では発芽をそろえて、初期の生育を順調に進めることが大きなポイントです。

畑の準備として、前作はなるべく早めに片付け、残渣（さ）を残さないようきれいにし、少なくとも20日前ぐらいまでに完熟した細やかな堆肥と油かすなど有機質肥料、少量の化成肥料を全面にまき、深さ20cmぐらいによく耕し込んでおきましょう。元肥はやや控えめにし、施肥の主体は盛んに育ち始めてからにする（こと）です。

手順として、まき溝はくわ幅で、底面が平らになるよう丁寧に作り、土が乾いていたらジョウロで溝全面に、溝をはみ出さないようにたっぷりかん水し、底面が平らに落ち着いたら種まきします。水が溝からはみ出すと、覆土するとき土がぬれていて困ることになります。

覆土は種子がやっと思えなくなる程度（5〜7cm）の薄めとします。覆土した後、くわの背で軽く鎮圧し、種子を土になじませておきます。

まき終わったら溝全面に細かく砕いた完熟堆肥または切りわらで薄く覆って、乾燥や降雨による土のはね上げ、地面の固結を防ぎます。材料は発芽しても取り除く必要はありません。発芽するまでに乾燥したらかん水を心



掛け、乾き過ぎないように注意します。

発芽ぞろいし、本葉2〜3枚ぐらいに育ったら間引きします。初期は軟弱なので、ある程度密にして共育ちさせることが大切です。本葉5〜6枚になったら第2回の間引きで、10〜12cm株間（品種差あり）の本立ちとします。間引きした後には追肥すること。雑草が大変生えやすいので遅れずに除草することもニンジン作りの大切なポイントです。



大葉

シソモザイク病

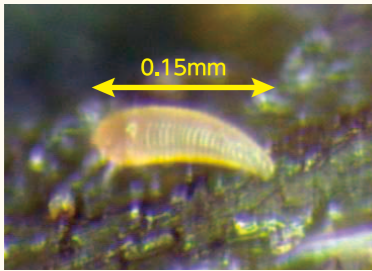
平成25年に新種のウイルスとして報告されています。

感染株のモザイク症状



シソサビダニ（媒介虫）

（中央農業研究センター久保田氏）



症状

葉脈に沿って退緑・黄化し、モザイク症状が生じます。酷いと葉脈が曲がり、葉が変形して、商品価値が無くなつてしまいます。

感染原因

ウイルスを保有したシソサビダニが飛来し媒介します。ほ場にほとんど姿が見られなくても、ウイルス媒介能力が高いため症状が発生することがあります。

防除対策

露地栽培では7〜9月頃、施設栽培では9〜11月頃に発生が多くみられます。露地で発生株が確認できる場合、近隣の施設栽培にも発生がみられることから、感染株については、早期に抜き取り、焼却処分するなどの防除が必要です。

また、感染を広げないために、適正な薬剤による防除も必要になります。

ししとう

定植後の管理

●かん水は、活着するまで手でたっぷりかけるようにしましょう



●定植後、最初の分枝に咲く花を1番花（果）と言います。生長によつて変わりますが、目安として2〜3番花（果）までは樹が弱く、正常の肥大が難しいので、できるだけ外しあげると良いでしょう

●元肥で投入する施肥量にもよりますが、収穫し始めたら追肥を7〜10日間隔でしてください

●第分枝以下の葉の摘葉は、主枝が8〜10節以上になるか、病害が出たら行います

垣根仕立て・畝状誘引(ネット)



果実肥大

